

何よりも いのちを大切に

困りごとがあれば
すぐに駆けつけます！

京都市会議員として4期16年を数えることになります。

いのちを原点に、大宮消防出張所廃止に反対、

管理者不在の「民泊」への規制求めて

全力で取り組んでまいりました。

誰もが安心して暮らせる市政を実現するためにがんばります。



日本共産党

京都市会議員・4期

くらた共子 市会

蔵田ともこ

経済総務委員長、予算決算特別委員会副委員長、京都市都市計画審議会委員など歴任。

現在、京都府後期高齢者医療広域連合協議会議員、教育福祉委員。日本共産党京都市会議員団・民泊問題プロジェクト責任者。

1960年生まれ、58歳。京都府南丹市日吉町出身。府立園部高校、府医師会看護専門学校看護専門課程看護科卒業。

21年間、上京で看護師・ケアマネジャー・訪問看護ステーション所長として医療に従事。

特技は着物の着付け。趣味はエアロビクスダンス。家族は建築士の夫と2人の息子。

くらた共子   

くらた共子の3つの提案 住民の声届けががんばります



1 高すぎる国保料の引き下げを

京都市国保は54億円の黒字です。保険料は引き下げられます。全国知事会も国保料を引き下げるために国に1兆円の公費投入を求めています。協会健保並みの国保料となれば、年間20万円引き下げとなる世帯も生まれます。



2 住宅密集地、路地の「民泊」の規制を

現条例では、上京区のどこでも「民泊」ができます。火災などの危険から住民の暮らしを守るために細街路、袋路、学校周辺等での開業を規制する条例改正を求めます。宿泊施設には管理者の常駐を義務づける必要があります。



簡易宿所を断念させ、建築協定で地域を守る町内会の皆さんと。

3 子どもの医療費を 中学卒業まで無料に

亀岡市も中学卒業まで入院も通院も無料とする方針を発表しました。

子どもの命を守り、子育てしやすい京都市とするために制度の拡充は待たないです。



子育てしやすい環境づくりに期待します。

医療的ケアが必要な子どもの保育と就学について相談したら、すぐに保育園に来てくれました。親身に子どもやお母さんの力になってもらい大変心強く思いました。一層の活躍を期待します。

竹内 圭さん (保育関係者)

